

東京シンフォニエッタ 第36回定期演奏会

Tokyo Sinfonietta the 36th Subscription Concert

私たちの新たな哲学

~A Creation from Our Activity~

2014年12月11日 木 19:00

19:00 Thursday, 11th December 2014

サントリーホール ブルーローズ

Suntory Hall Blue Rose

指揮：板倉康明

Conductor : Yasuaki Itakura

演奏：東京シンフォニエッタ

Ensemble : Tokyo Sinfonietta

ゲスト

オーボエ：オリヴィエ・スタンキエーヴィチ

Oboe: Olivier Stankiewicz

権代敦彦 (1965-) : 沈黙のための七つのコラール変奏曲 (1995)

Atsuhiko Gondai(1965-) : 7 Choral Variations towards Silence Op.24(1995)

一柳 慧 (1933-) : 交響曲第8番-リヴェレイション2011 / 平成黙示録 - (2011)

Toshi Ichihyanagi(1933-) : Symphony No.8 -Revelation 2011-(2011)

ユーイ・ラウケンス (1982-) : ファーストムーブメントとエピローグ(2009)

Joey Roukens(1982-) : Fast Movement and Epilogue(2009)

バンジャマン・アタイル (1989-) :

ニユルII オーボエソロとアンサンブルのための
(2014、世界初演、東京シンフォニエッタ委嘱作品)

Benjamin Attahir(1989-) :

"NUR II" pour hautbois solo et ensemble (2014, World Premiere, Commissioned by Tokyo Sinfonietta)



入場料：一般4,000円 / 学生2,000円(全席自由)

主催：一般社団法人 東京シンフォニエッタ

助成：芸術文化振興基金 / INSTITUT FRANÇAIS

協力：Sony Music Foundation

JAPAN
CLASSIC
FESTIVAL

クラシックのない人生なんて!

Tokyo Sinfonietta
the 36th Subscription Concert

2014年12月11日(木) 19:00 サントリーホール ブルーローズ
19:00 Thursday, 11 December 2014 Suntory Hall Blue Rose

ごあいさつ

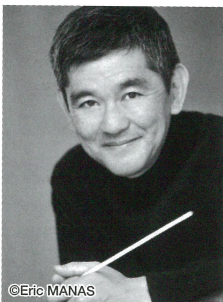
TSが今までに国内外の作曲家に委嘱した作品は数多くあるが、その姿勢として、必ず、「再演」ということを意識している。前回の定期で、TS第一回公演のプログラムをそのまま演奏したが、20年の時を経て、演奏に対する感覚はかなり異なり、演奏者それぞれがその作品への理解度が深まり、十分に消化して演奏できる＝より自由に自分の解釈を発揮することができた。このことから、「再演」と言う行為は特に新しい作品の場合、世界初演と同等の意味があると考えている。

今回はTSの初期の委嘱作品から、権代作品を取り上げる。この作品はたびたびTSでも取り上げてきたが、それ以外の演奏団体でも取り上げられている作品で、いわば評価の定まったものと言えよう。ラウケンス作品は、オランダのガウデアムスとの共同委嘱、若いオランダの作曲家のエネルギーがあふれる作品をどう消化するか。一柳作品はTS委嘱作品で東京初演の後、2012年のTSパリ公演でヨーロッパ初演され、現地の音楽関係者の間で話題になった作品。今回は、2015年の1月の東京都交響楽団の定期公演で交響曲9番が世界初演されるが、その1か月前に交響曲8番を演奏し、いわば近作を続けて聞けると言う事にもなっている。アタイル作品は、それまで日本では知られていなかったこの素晴らしい作曲家の楽譜をRadio Franceでの委嘱作曲家選定作業で読み、その才能に魅かれた瞬間を鮮明に覚えている。今回は彼自身がTSのために作曲したいと申し出てくれ、偶々彼の親友であるオリヴィエ・スタンキエーヴィチのためにコンチェルトを書きたいと言っていたことが実現し、世界初演の作品となる。



©堀田力丸

アンサンブル 東京シンフォニエッタ Tokyo Sinfonietta



©Eric MANAS

代表：板倉 康明

権代 敦彦

Atsuhiko GONDAI (1965~)



12歳の頃に聴いたメシアン音楽に惹かれ作曲を志す。メシアン音楽を通じ、カトリックへの関心が深まり、洗礼を受け、教会オルガニストも務める。桐朋学園で作曲を学んだ後DAAD奨学生としてフライブルク音楽大学に留学。更に文化庁芸術家在外研修員としてパリのIRCAMで研鑽を積む。ローマのブッキ国際作曲コンクール第1位('91)、フルシャワのセロツキ記念国際作曲コンペティション第2位('92)、第6回芥川作曲賞('96)、芸術選奨文部科学大臣新人賞('02)等を受賞。17歳で作曲した「アヴェ・マリア」を作品1とし、合唱、オーケストラ、独奏曲、邦楽、雅楽、仏教音楽・声明との交流から生まれた曲まで140曲を超える作品がある。

一柳 慧

Toshi ICHIYANAGI (1933~)



神戸生まれ。高校時代に第18回及び20回毎日音楽コンクール(現、日本音楽コンクール)作曲部門第1位入賞。'54年~'57年までジュリアード音楽院に学び、E・クーリッジ賞、S・クローゼヴィツキ賞等を受賞。留学中にジョン・ケージを知り、不確定性の音楽を展開、様々な分野に強い刺激を与える。常に第一線で活躍、一柳の創り出す独創的な音楽空間によりこれまでに4回の尾高賞の他、85年仏政府より芸術文化勲章、89年第30回毎日芸術賞、京都音楽賞大賞、2002年サントリー音楽賞を受賞。99年紫綬褒章、05年旭日小綬章、08年文化功労者に顕彰される。現在、公益財団法人神奈川芸術文化財団芸術総監督を務める。

ユーイ・ラウケンス

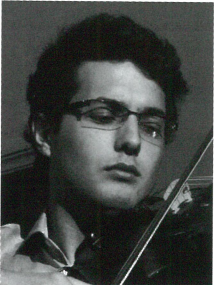
Joey Roukens (1982~)



オランダ、スヒーダム生まれ。ロッテルダム音楽院で作曲をクラス・デ・ヴリーズに、心理学をライデン大学にて学ぶ。また、ピアノをトン・ハルトシュイカーに師事。これまでにロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、オランダ・フィルハーモニー・オーケストラ、ニュー・アンサンブル、東京シンフォニエッタ、アウレリア・サクソフォン・ファルテットとアルケスト・デ・フォルハーディング等によって演奏される。オーケストラ、アンサンブル、室内楽、ソロ作品を手がける他、昨年にはオペラ「ミスター フィネー」を初演。1998年クリスティーナ王妃コンクールにて第一位。

バンジャマン・アタイル

Benjamin Attahir (1982~)



トゥールーズ生まれ。2010年にパリ国立高等音楽院の分析の修士取得。パリ国立高等音楽院にて作曲をジェラルド・ベッソ、管弦楽法をマルク・アンドレ・グランドパヴィ、ヴァイオリン・指揮をアミ・フラメに学ぶ。数多くの作品が、パリ国立高等音楽院受賞者管弦楽団、マッシーオペラ、カン管弦楽団、フランス国立管弦楽団、東京シンフォニエッタ、トゥールーズ室内管弦楽団等によって演奏されている。今シーズンはフランス国立管弦楽団との共同作業、ルツェルン音楽祭でブルーズ指導の下新作の初演、フランス国立フィルハーモニックやブルーズの生誕90周年を祝う作品をアンサンブルアンテルコンタンポラン(EIC)より委嘱されている。

オリヴィエ・スタンキエーヴィチ(オーボエ) Olivier Stankiewicz (1989~)



16歳の時モンテ・カルロ・フィルハーモニー管弦楽団とソリストとして共演。パリ音楽院を卒業。オーボエをダヴィッド・ワルター氏、ジャック・ティス氏らに師事。音楽理論をクロード・ルドゥ氏、アラン・ルヴィエ師らに学ぶ。'11年よりトゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団の首席オーボエ奏者。'12年[第10回国際オーボエコンクール・軽井沢]にて第1位(大賞)受賞。'13年ADAMIによるクラシック・レヴェレーション・オブ・ザ・イヤヤーを受賞。今年3月バンジャマン・アタイル作曲による新作をトゥガン・ソヒエフの指揮、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団にて初演。現在ロンドン交響楽団でも首席オーボエ奏者として活動中。

■主催：一般社団法人 東京シンフォニエッタ <http://orchestra.musicinfo.co.jp/jp/ts/>

■チケットお取り扱い：チケットぴあ 0570-02-9999 t.pia.jp Pコード238-449

■お問合せ：東京コンサーツ 03-3226-9755(月~金 10:00~18:00) <http://tokyo-concerts.co.jp> (HPにて予約、セブン・イレブンにて支払・受取ができます。)

■サントリーホール ブルーローズ：地下鉄東京メトロ 南北線六本木一丁目駅3番出口徒歩5分/銀座線 南北線溜池山王駅13番出口徒歩7分 ※出演者・曲目は予告なしに変更になる場合があります。

他公演のお知らせ

「第10回 国際オーボエコンクール・軽井沢」(2012年)第1位(大賞)受賞記念
オリヴィエ・スタンキエーヴィチ オーボエ・リサイタル
2014年12月14日(日) 14:00開演 トッパンホール

全席指定:4,000円、ユース:2,000円

主催・お問合せ：Sony Music Foundation

tel:03-5227-5233 (平日10~18時)